

1. 件名 : 原子力事業者が実施する令和元年度総合訓練の実施内容の確認について

2. 日時 : 令和元年12月3日(火) 13:30 ~ 14:45

3. 場所 : 六ヶ所オフサイトセンター 休憩室

4. 出席者 :

原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所

宮本副所長、木村(直)原子力防災専門官

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター

安全管理課長代理 他1名

5. 要旨

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター(以下「保障措置センター」という。)事業者防災業務計画に基づき同センターが実施する令和元年度総合訓練について、保障措置センター安全管理課担当者から実施計画概要の説明を受け、原子力規制庁から以下のとおり確認・要望等を行った。

- (1) オフサイトセンターへの要員派遣を模擬としているが、オフサイトセンターの機材なども換装されているため、実員を派遣し情報連絡の訓練を実施したほうが良いと要望し、検討するとの回答を得た。
- (2) 現場要員の行動を制限又は、現場要員の状況判断を誘導してしまう様な状況付与・訓練統制を避けるよう要望したところ、訓練計画策定に当たり考慮しているとの回答を得た。
- (3) 広報訓練のうち模擬記者会見を後日実施としているが、その際、当事務所からオブザーバーを参加させたいと要望したところ、後日実施日程を連絡するとの回答を得た。
- (4) 原子力規制庁緊急時対応センター(以下「ERC」という。)と保障措置センター緊急時対策所との間のバックアップ通信手段としている衛星携帯電話については、今回の訓練に含める必要はないが、実際に ERC との接続訓練をしたほうが良いと提案し、検討するとの回答を得た。
- (5) 初動におけるオフサイトセンターのプラントチームの主力は、事業者となるため、オフサイトセンター派遣要員については、新しいオフサイトセンターの機材に習熟するために操作教育を受けてもらいたいと要望し、検討するとの回答を得た。

6. その他 :

なし